

要望書

学校給食費の無償化の早期実現について



【第一中学校の給食の様子】

令和7年7月
熊本県八代市

日頃より、本市の教育行政に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今、全国的に少子化が深刻化しており、特に都心部を除く地域ではその対策が喫緊の課題となっています。本市でも30年後の年少人口は現在の約13,500人から5,000人減の約8,500人と大幅に減少する見込みです。また、近年の国際情勢や物価高騰の影響は子育て世帯にとって大きな経済的負担となっており、これらへの対策が急務となっています。

このような状況の中、本市では多くの保護者から少子化対策や子育て支援策として効果が期待できる小中学校の学校給食費の無償化を望む声が届いているところです。

一部自治体では、既に学校給食費の無償化を実施していますが、財政状況により実施できる自治体は限られており、本市においても独自で学校給食費を無償化することは財政負担が大きく困難を極めます。

このように自治体の財政状況の如何により保護者負担に格差が生じることは、子どもたちの教育の公平性を損なうこととなります。

国による学校給食費の無償化は、義務教育における公平性の確保に寄与するとともに多くの自治体が直面する少子化対策や物価高騰対策としても有効な取り組みであると思料します。つきましては、国の責任において速やかに財源を確保し、小中学校の学校給食費の完全無償化を実施いただきますよう強く要望いたします。

令和7年7月

八代市長 中村博生